

円安による物価高騰を是正せよ！

安倍・黒田コンビの悪夢の10年間―。異次元の金融緩和と銘打ち、日銀に国債を引受けさせ赤字国債発行を10年間連発した自民党。自己責任でその処理を急げ！円安による物価高は国民生活を苦しめ、電気やガソリン代の継ぎ接ぎ補助金でこまかさず、円高に戻せ。国会議員、国家公務員の人員削減など身を切る改革をせよ。

円安の主因と

その影響

現在、為替相場において1ドル148円、1ユーロ173円という歴史的な円安が続いている。このような円安は、輸入物価の高騰を招き、国内の物価上昇（インフレ）の一因となっている。特にエネルギーや食料品など、輸入依存度の高い商品は価格転嫁が避けられず、国民生活に直接的な打撃を与えている。円相場を1ドル100円、1ユーロ110円程度に戻すためには金融政策と財政政策の両面からの総合的なアプローチが求められる。

現在の円安の主な要因は、日米金利差の拡大にある。米国がインフレ抑制のために金利を5%以上に引き上げる一方で、日本は長年にわたる金融緩和政策によりゼロ金利政策を維持してきた。この金利差により、投資資金が円からドルへと流れ、円売り・ドル買いが加速している。

円安は輸出企業にとっては一時的に有利に働く側面もあるが、国全体としてはデメリットが大きい。エネルギーや原材料の輸入価格が上昇し、企業のコスト増加を招くだけでなく、最終的には消費者物価の上昇へとつながる。さら

に、実質賃金の伸び悩みや所得格差の拡大に拍車をかけ、経済の持続的成長を阻害している。

円高への

政策的アプローチ

円相場を安定的かつ適正な水準へと導くためには、以下のような政策が必要。1金融政策の見直し

日本銀行が実施してきた「異次元の金融緩和」は、デフレ脱却を目的としたものであり、長年にわたり超低金利政策と国債の大量購入が続けられてきた。これにより円の価値が増え、結果的に円の価値が下がる要因となっている。

〈文責：嵯峨 十郎〉

円高を実現するには、まずは金利の正常化が不可欠である。段階的に政策金利を引き上げるとともに、長期金利の上昇を許容する「イールドカーブ・コントロール（YCC）」政策の柔軟化、または廃止が検討されるべきである。金利が上昇すれば、海外投資家の資金が再び円に戻る可能性が高まり、為替相場の是正につながる。

2為替介入の戦略的活用

政府・日銀が協調して円買い・ドル売りの為替介入を行うことも、一時的な円高誘導には有効である。ただし、介入の効果は限定的であり、持続的な円高を実現するには金利政策やマクロ経済政策と連動させる必要がある。

また、単独介入では市場の信認を得にくいいため、主要国（特に米国）との協調を模索する必要がある。過去にはG7の共同声明によって円高・円安は正が行われた事例もある。

るため、国際的な枠組みの中での調整が重要だ。

3財政政策と構造改革

金融政策だけでは円相場の調整には限界がある。財政政策においては、国際的な信用を高めるために財政健全化の道筋を明確にすることが求められる。日本の巨額の政府債

務は、将来的な財政不安を招き、円の信認低下につながるリスクがある。物価高対策が争点となった今回の参院選の中盤、自民・公明が衆参両院で少数野党になると財政悪化が予想されると、国債市場で長期金利が一時1・595%に上昇。リーマンショック直

後の2008年10月以来、約17年ぶりの高水準を付けた。加えて、経済の潜在成長率を引き上げるための構造改革、特に生産性向上・デジタル化・労働市場改革などを進めることで、海外からの投資を呼び込み、円需要の安定化にも寄与する。

中長期的な

視点の重要性

為替は短期的には投機的な動きに左右されるが、長期的には経済のファンダメンタルズを反映する。したがって、目先の円高誘導に終始するのではなく、中長期的に「円の信認を高める政策」を実行し続けることが重要である。これは日本経済全体の健全性を保ち、将来の持続可能な成長を支えるものである。

円相場を1ドル100円、1ユーロ110円に戻すという目標は、容易ではないが不可能ではない。そのためには、日銀の金融政策の転換を軸に、政府の財政健全化、構造改革、さらには国際協調による戦略的対応が不可欠である。

円安の現状を打破し、物価高に苦しむ国民の生活を守るためにも、今こそ金融・財政両面での大胆かつ持続的な政策転換が求められている。

年度別1ドル対円 1ユーロ対円相場の推移

年	1993	1994	1995	1996	1997
USD ユーロ	111.20	102.21	94.06	108.78	120.99
年	1998	1999	2000	2001	2002
USD ユーロ	130.91	113.91	107.77	121.53	125.39
		121.59	99.54	108.80	118.23
年	2003	2004	2005	2006	2007
USD ユーロ	115.93	108.19	110.22	116.30	117.75
	130.95	134.44	136.98	146.02	161.25
年	2008	2009	2010	2011	2012
USD ユーロ	103.36	93.57	87.78	79.81	79.79
	152.31	130.24	116.43	111.09	102.60
年	2013	2014	2015	2016	2017
USD ユーロ	97.60	105.94	121.04	108.79	112.17
	129.64	140.51	134.30	120.33	126.65
年	2018	2019	2020	2021	2022
USD ユーロ	110.42	109.01	106.77	109.75	131.50
	130.39	122.06	121.79	129.83	138.09
年	2023	2024	2025.7.15	単位：円 ※年間の平均レート。 2025年は7月15日の レート	
USD ユーロ	133.46	151.36	148.69		
	142.99	163.74	173.84		